

ビンナガとカツオの漁場予測

資源管理部 研究員 櫻井正輝

目的

本県遠洋カツオ一本釣船のビンナガ、カツオ漁場探索にかかる負担を軽減するため、人工衛星情報を活用して、漁場予測を行う。

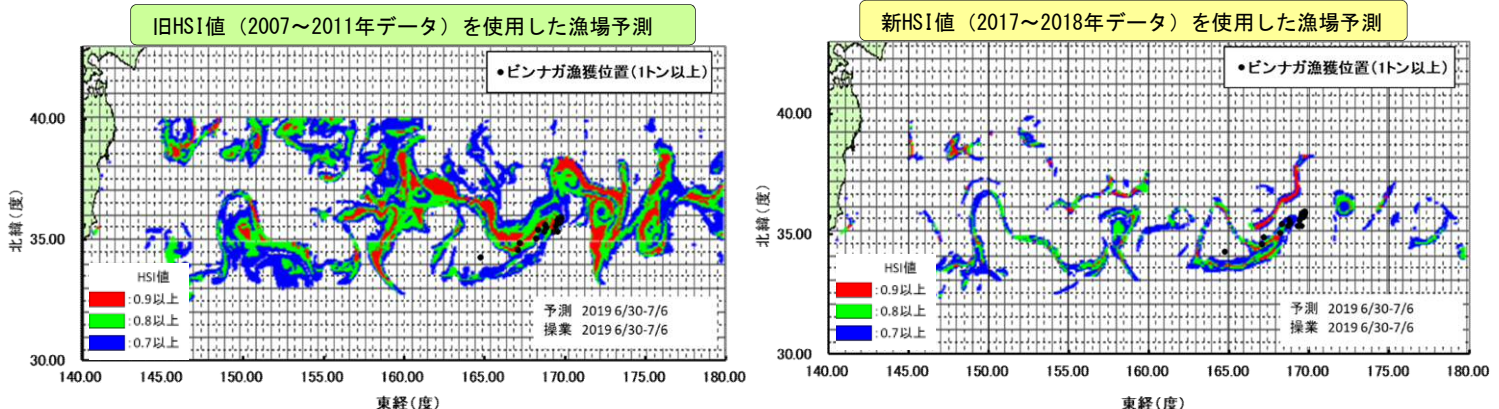
予測手法

- ・ある環境が対象とする生物にとって生息適地かどうか0(不適)～1(最適)で数値化し、評価するHSIモデルを応用。
- ・HYCOM衛星画像より各漁獲位置における環境要因(海面高度、水温、塩分)の値を抽出。抽出した環境要因から、HSI値(生息環境適正指数)を算出。予測する日の衛星画像から環境要因値を抽出し、生息適地か評価。

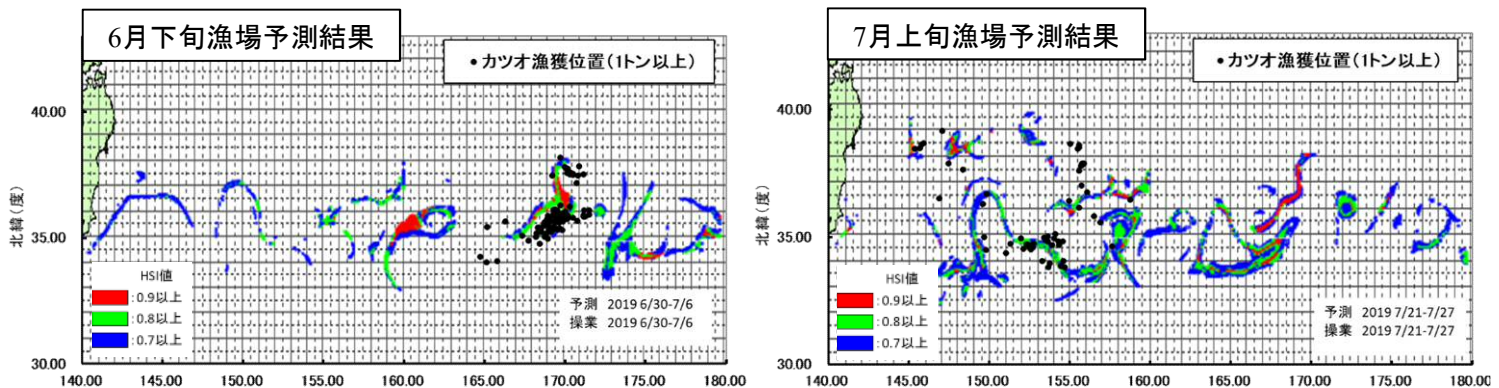
今回の課題

1. ビンナガ漁場予測で使用しているHSI値を更新することによる精度向上。
2. HSIモデルを使用することで、カツオについても漁場予測が可能か検討。

1. ビンナガ漁場予測で使用しているHSI値の更新(新旧漁場予測の比較)



2. カツオ漁場予測(今回初めてHSIモデルで実施)の結果の例



まとめ

- ・ビンナガ漁場予測のHSI値を更新した結果、従来の予測よりも予測範囲を絞り込めた。ただし、HSI値の集計期間については検討する必要。
- ・カツオについてもHSIモデルにより漁場予測できることが示唆。